

《第6回 ICD特別賞受賞者》

ICD特別賞を受賞して
～法人会計の諸表作成とその経緯～

ICDフェロー



根 岸 達 郎

●抄 録●

2026年6月にエドモントホテルで開催された総会後の「第6回ICD特別賞表彰式」においてICD特別賞を頂きました。これは佐藤吉則第27代会長の推薦があったからの榮譽だと思っています。

私の今回の受賞理由の一つは、本会の一般社団法人設立時に法人会計に必要な財務諸表（正味財産増減計算書、貸借対照表）、収支予算書及び収支計算書の様式を新たに作り法務局の認可を得て、一般社団法人の設立に会計面からサポートできたことだと思っています。

キーワード：ICD特別賞、一般社団法人、法人会計

1992年にICD日本部会（本会）に入会させていただきました。早いもので在籍年数は今年でもう34年にもなっていました。推薦いただいたフェローの先生は、当時神奈川県歯科医師会の常務理事の後藤勉先生と前本会常任理事の今村嘉宣先生の父君の今村嘉孝先生で、このお二人の先生には神奈川県歯科医師会の公衆衛生委員会で、大変お世話になりました。

本会入会後はすぐに広報委員会の委員にいただき、委員会を通じて委員の皆さんとも親しくしていただきました。また特に執行部の先生方からはICDの精神のようなものを勉強させていただきました。

私の記憶では、2000年の初めころから本会を任意団体から人格のある一般社団法人にしたかどうかという動きが出てきましたが、「法人になってメリットがあるのか」とか、「法に縛られて会務が煩雑になるのではないのか」という戸惑いの声もあり、この話は一時立ち消えになっていました。

ちょうどこの頃から本会会計の赤字が年を追って増加するようになり、かなり深刻な状況に陥ってきたことから会計の健全化が執行部の最大の問題になってき

たようでした。

齋藤毅会長の時になって、会計の健全化を目指して特別委員会が設置され、私もその委員に入れていただきました。

当時、本会の会計は一般会計と特別会計の二本立てになっていて、一般会計の主な収入は会費収入とその他の収入で、特別会計の主な収入は入会金収入と積立金でした。しかし、この二本立ての会計ではどこをどう改善すれば会計が健全化するのか見えてきませんでした。そこで私が会計を一本化する様式を作り、今までの二本立ての予算書、決算書をこの様式に置き換えて特別委員会に提出するようにしました。しかし、この一本化の様式は今の法人会計に近いものになっていましたので、会計の二本立てに慣れている特別委員会の委員の先生方にはあまり関心と呼びませんでした。しかし、何回かの特別委員会の後には会計の一本化に対する理解が深まり、今までの赤字会計のどこに問題があるのか、改善するところはどこにあるのかがかなり明確になってきて、会計健全化の道筋が見えてきたことを思い出します。



第6回ICD特別賞表彰式

そして、齋藤毅会長のもと一般社団法人設立の機運が一気に高まり、法人化に向けた準備が始まる中、私は一般社団法人の会計諸表の作成を任されました。

私は任意団体である歯科医師会の会計は何年か経験したことはありましたが、法人会計については全くの素人でしたので、まず専門書を何冊か読み、法人とは何かを理解し、その後2008年制定の「新会計基準」に則り、一般社団法人会計に必要な収支予算書、収支決算書、正味財産増減計算書及び貸借対照表の様式を作り上げて、2010年2月に法務局の認可を得ることができました。

この会計諸表は本会の総会で毎年ご覧いただいているもので、作成から今年で16年ほどたっていますが、今までに科目の変更をしたことは一度もなく、今でも見やすく、他の科目との比較もしやすく、会計の透明化につながっているものと思っています。

一般社団法人設立後、私は2010年度から3期6年にわたって財務主事を務めさせていただき、本会の法人会計を盤石なものにできたと思っています。このことは、その時々々の執行部の皆さんをはじめ、会員の皆さんの協力のおかげだと深く感謝しています。

Receiving the ICD Special Award: Development of Financial Statements for an Incorporated Association and the Process Involved

Tatsuro NEGISHI, D.D.S., F.I.C.D.

I was honored to receive the ICD Special Award at the 6th ICD Special Award Ceremony, held following the General Assembly at the Edmont Hotel in June 2026. I believe that this recognition was made possible through the recommendation of Dr. Yoshinori Sato, the 27th President of the Association.

One of the reasons for this award was my contribution to the establishment of the Association as a general incorporated association. Specifically, I developed the accounting formats required for incorporation, including the Statement of Changes in Net Assets, Balance Sheet, Budget Report, and Statement of Revenues and Expenditures, all of which were approved by the Legal Affairs Bureau. These efforts provided accounting support for the successful establishment of the Association as a general incorporated association.

Key words : ICD Special Award, General Incorporated Association, Corporate Accounting